

紹介編 *Who is she?*



はたママ代表の小野麻紀子さん
<http://asia.hatamama-world.com>

はたママ 代表者にお聞きしました！

きっかけは、不安と情報不足

コミュニティを立ち上げたのは2013年10月。同年4月に長女を出産し、生後2か月で仕事復帰した麻紀子さんだったが、心中は複雑だった。日本では、好きな広報職に従事していたが、環境が異なる当地で同じ仕事に復帰するのは至難の業。迷いながらも興味を持てそうな仕事をしていたが、出産後、仕事にすぐ戻らなければならなかつた際「幼い子どもを預けてまで働くなら、自分が本当にやりたいと思える事をしたい」と強く感じたという。



妊娠時に子育てに関する情報を直接聞ける相手がないなくて、不安感が強かったというのもあり、“同じ想いを持つ者同士で繋がり、役立つことをシェアしあう場”が必要だと考えた。最初は、お茶会から始まり、徐々に参加者が増えていった。

活動編 *What is she doing?*

つながり、勇気、希望

「当地で子育てしながら働くのは、孤独。“働きたい”想いがあるって、信頼できる子どもの預け先をどう探したら良いか、育児と両立できる職場を一人で探すのは大変。また、働くことを選択しないママ友などに相談したりすると、“働くの？ 凄いね”と驚かれててしまい、気持ちがなえてしまう場合も。でも、同じ想い(境遇)を持っている者同士話すだけで、勇気や希望が生まれ、例えば、幼稚園や職場選択の際もプラスの気持ちで選べる」「つながりや学ぶ場に参加することで、自分らしく輝いてほしい」という麻紀子さん。

“やりたい”をすぐ仕事に繋げるのは簡単ではないが、同じ想いを持つ者同士で話せば、アイデアが生まれたり、ポジティブな気持ちになれる。一人ではできないことも、みんなでやれば実現できるという考えだ。

働いていない、ママでない女性も是非

現在300人が在籍する“はたママ”だが、「働いていないと、ママでないと入れない」というわけではない。「これから働きたいけど、どうしたらいいか分からない」「子どもがいないが、これから欲しいし、子どもが出来たら働き方がどう変化するのか心配」という女性にも是非参加して頂きたいという。これからどう働くべきか悩める女性の為の“プレはたママ部”もあるので、不安がある方はまず一步踏み出してみてほしい。

スタッフも増えバラエティ豊かな活動内容に

「月1回何かをする」を目標に、活動を続けていたが、2015年に次女を出産した事で、活動を休まざるを得なくなる。そこで、一人での運営に限界を感じ、2016年からはチームで運営を始め、現在は30名以上が個々の強みを活かし、イベント、HPを運営している。イベントは「つながる」「学ぶ」をテーマに月1-2回開催。

be happy

自分らしくある為に…

「海外で子育てしながら働くのは楽ではない。でも、どこにいても自分らしく輝ける場がないと、家族にも優しくできないし、結局ハッピーになれない。子育てしながらも楽しく仕事をする為にどう動いたらいいのか不安や悩みを感じたら、またそういう事を話せる友達がほしければ、是非仲間に入つてほしい。自分の居場所があるのは大切なこと。悩みを解消して、新たな一步を踏み出せる場をこれからも提供し続けたい」

終始笑顔で話してくれた麻紀子さん。ご自身も悩んだ分、人に対して優しくなれたり、同じ境遇の人にとって、どんな場が必要かを的確に判断できるのだろう。入れ替わりの多い当地だが、はたママはこれからも活動の幅を広げ、多くの女性に勇気と希望を与えていくだろう。